

1. 各地区（全国8地区）で他大学や病院・薬局実務実習地区調整機構、薬剤師会、病院薬剤師会等との連携によって実施された教育研究活動

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2018年（平成30年）度】

<東北大学>

○ スーパージェネラリスト・ファーマシストの養成教育事業

- ・医療の質の向上及び医療安全の確保の観点から、チーム医療において薬剤の専門化として主体的に薬物治療に参画し貢献できる薬剤師を養成するための教育プログラムの構築を図った。

<千葉大学>

○ 実践社会薬学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム（*）

- ・文科省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組として実施していたプログラムを2018年度も継続して実施した。千葉県薬剤師会、千葉県病院薬剤師会、医薬品適正使用推進機構と連携して、学部生のアドバンスト教育を千葉県内2薬科大学3大学が特徴的に有する教育プログラムと融合した教育を行った。
- ・大学間で相互に受講でき、単位を認定できる取組となっている。

<富山大学>

○ 高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース

- ・2017年度～2021年度、富山県病院薬剤師会・富山県薬剤師会との連携により、「高齢化した地域医療を個別化医療で支えることができる高度薬剤師養成コース」をインテンシブコースとして大学主催で地域の薬剤師への教育活動として開講した。

<金沢大学>

○ 北信がんプロ（*）

- ・文部科学省の大学間の連携による「がん医療人材養成拠点」において、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築し、がん医療の新たなニーズに対応できる優れた「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」を養成することで、我が国に

おけるがん医療の一層の推進を目的として実施している。

- アポテカプロジェクト：地域薬局レジデント体験（＊）
 - ・金沢大学と白山市、コメヤ薬局（白山市）は、高齢化が進んだ地方の中山間地域に薬局を開設し、地域住民の未病や健康維持、地域医療を支える薬剤師の養成に取り組む産学連携の「アポテカプロジェクト」を実施した。
 - ・プロジェクトは、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」の一環として進められ、薬剤師を目指す学生に中山間地域医療への理解や課題解決の取り組みを学ぶインターンシップを開発・実施した。
 - ・人材の地域定着を目指したもので、年度内に複数回トライアルを実施し、課題や問題点などを検証した上で、新年度から本格的に実施する。
- NPOアカンサス薬局における学生実習
 - ・NPOアカンサス薬局においてすべての学生が薬局実務実習を実施した。

<静岡県立大学>

- 薬学会東海支部講演会【連携】
 - ・日本薬学会東海支部に所属する大学が研究者を招聘し、日本薬学会の資金的援助を得て薬学会東海支部講演会を公開講演会として実施した。
- 東海薬学教育コンソーシアム【連携】
 - ・東海地区調整機構に所属する薬系7大学が主体となり、各県薬剤師会、病院薬剤師会と連携して、新しい臨床薬学教育の推進のためのコンソーシアムを運営している。
- 静岡健康・長寿学術フォーラム
 - ・静岡県、静岡県立大学、静岡大学、浜松医科大学の4団体が協力して、大きな社会的課題である「健康長寿社会」の構築に関する最新の学術研究成果の発表を行い、その成果を県民に還元した。学部生及び大学院生が研究成果をポスターで発表した。
- 薬剤師生涯学習支援講座【連携】
 - ・1年に4回、名古屋市立大学との共催で、薬剤師業務に役立つ大学発の薬学関連講座をインターネット回線をつないで実施している。
- 静岡救命連携演習
 - ・日本禁煙科学会、薬剤師会、歯科衛生士会、医師会、看護師会、静岡県、静岡市、県教育委員会と共催で、禁煙アドバイザー講習会を学内で開催し、禁煙指導に必要な知識を習得してもらい、禁煙指導士の資格を取得してもらっている。
 - ・2019年度から必修となる。
- 健康フェア
 - ・静岡市、くすり・たべもの・からだの協議会、菊川市、川根本町、などとの共催により、市民に対する健康に関する講演、健康測定会（血圧、簡易心電図など）、お薬相談、健康相談などを学生が中心となり、教員や地域の薬剤師、市役所の方などもともに実施した。
 - ・薬、食、看護の学生が協力し、大学や実習先で得た知識を活用した地域貢献であり、

年15回程度行っている。

○ モバイルファーマシーを活用した活動

- ・菊川市、川根本町、県薬剤師会などとの共催によって、モバイルファーマシーを地域に派遣し、教員や地元薬剤師の指導のもと、病院薬局実習を終了した学生が残薬調査などを行った。実臨床での経験を積めるフィールドワークであり、モバイルファーマシーの認知度を高め、災害時あるいは平時には在宅医療に役立てる活動である。

<名古屋市立大学>

○ 東海薬学教育コンソーシアム **【連携】**

- ・名古屋市立大学に拠点を置き、東海地区調整機構に所属する薬系7大学が主体となり、各県薬剤師会、病院薬剤師会と連携して、新しい臨床薬学教育の推進のためのコンソーシアムを運営している。
- ・2018年度は、1) 新しい実務実習実施検討WS、2) FD講演会、3) 実務実習のあり方検討会、4) 実務実習支援WEB担当者WS、5) 薬学実務実習情報共有と課題検討シンポジウム(第4回日本薬学教育学会大大阪プレ企画)を実施した。

<京都大学>

○ 日本病院薬剤師会後援特別講演会

- ・日本病院薬剤師会との連携により、専務理事(元国立国際医療研究センター病院薬剤部長)・栗原先生を講師とする「病院薬剤師への招待ー薬学の専門性を最大限に生かそう!」と題した日本病院薬剤師会後援特別講演会を実施した。現在の医療行政と薬剤師の位置づけ、病院薬剤師の業務等について講演いただき、約40名の学生の参加があった。

<岡山大学>

○ 高度先導的薬剤師養成プログラム事業・岡山県薬剤師研修協議会共催講演会 **(*)**

- ・一般社団法人日本老年薬学会理事の川添氏を講師として招き、今後薬剤師が高齢者医療へどのような形で関わられるのかについての講演を実施した。

<広島大学>

○ 遺伝子検査セミナー

- ・薬局薬剤師と大学の共同により、遺伝子検査セミナーを開催し、一般市民への啓発活動を実施した。

<徳島大学>

○ 徳島大学臨床薬剤師交流ネットワーク (TPN)

- ・徳島県薬剤師会、徳島県病院薬剤師会との連携のより、臨床で活躍中の医療関係者

(医師、薬剤師、看護師等)を講師として招き、地域薬剤師と学生の身近な勉強会として、また長期実務実習を行う市中の病院・薬局との情報交換の場として参加型研修会を年数回開催している。

- ・徳島大学薬学部を拠点として県薬剤師会、県病院薬剤師会と連携し、地域薬剤師への生涯学習の場として先進的薬剤業務の知識習得をサポートするだけでなく、学生が地域薬剤師と共に学ぶことによって刺激を受け、就学意識の向上および生涯学習の重要性を認識させることにつなげている。

<九州大学>

○ シンポジウム「アドバンスト教育研究プログラムのグローバルな展開」

- ・大学院博士課程に望まれる薬学研究を考えるために、大学教員と学生、病院・薬局の薬剤師との活発な意見交換を目的として、九州地区の国立大学法人3大学(九州大学、熊本大学、長崎大学)合同シンポジウムを開催した。
- ・本学からは、九州大学の取り組みについて担当教員から紹介後、6年次生が「九州大学薬学部臨床薬学科における国際研修;台湾短期留学プログラム」、「地域薬剤師会との共同事業;アドヒアランス向上を目指した節薬バッグ運動」というタイトルで発表した。各大学の海外研修や地域における取り組みについて情報共有を行い、本事業の発展と、高度先導的薬剤師の育成に向けて活発な議論を行うことができた。

<熊本大学>

○ レギュラトリーサイエンスプログラム (*)

- ・本学大学院教育における「高度医療人養成・レギュラトリーサイエンスプログラム」に関連した独自の取組として、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)との大学院連携講座「レギュラトリーサイエンス学」を設置した。
 - ・大学院講義「トランスレーショナル基礎講座」として、本学医学部附属病院総合臨床研究部研究展開センターやPMDAから講師を招聘して、特許申請・権利化、ベンチャー企業支援、前臨床試験のデザインと企業との連携、PMDAの組織および業務棟について学ぶ機会を提供した。
- ##### ○ 日本腎臓病薬物療法学会認定セミナー
- ・福岡県薬剤師会との協働で2年間で8回「日本腎臓病薬物療法学会認定セミナー」を開催した。